

2018春季生活闘争 地域討論集会開催

すべての労働者の立場に立って、働き方を見直そう！

「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ

開催日時 2018年2月21日(水)18:30～

開催場所 ワークインにのへ

2018春季生活闘争の県北地域協議会での地域討論集会を開催しました。

連合岩手の原副事務局長から状況報告を受け、地協事務局長からは連合岩手の闘争方針を説明しました。

その後、各構成組織から春闘の取り組み状況を報告し、それに対する質問を受け、最後は春季生活闘争必勝に向けて、地協議長の中田茂の発声で「ガンバロー三唱」を行い、地域討論集会を閉会しました。



【状況報告】 連合岩手副事務局長 原 利光

東日本大震災からもうすぐ7年を迎え、復興実施計画期間の最終年度として取り組んでいるが、まだまだ復興には先が見えない状況であり、被災者の心身のケアを含めた対応の必要性もある。復興工事終了後の地域の空洞化と地域経済の空洞化が心配される中で、中央としてもしっかりと取り組んでいく。合わせて台風10号被害による復興復旧にも最優先課題として取り組んでいく。

震災復興&クラシノソコアゲ地域フォーラム2018を今年は新しくなる岩手教育会館で4月26日に連合会長の神津会長と達増知事を迎えて開催する。今年で2年目となるが、最低でも5年間はテーマをもちながら取り組んでいく。

春季生活闘争については2月9日の第42回地方委員会で闘争方針を決定し、今後は企業側の内部留保の積み上げだけではなく、しっかりと労働の対価として賃上げに取り組んでいただきたい。

岩手県の最低賃金は22円引き上げの738円となったが、東京の958円と比較すると月収ベースで32,740円、年収ベースで440,880円となる。この状況の中で働く方のほとんどが非正規の方なので、その方々の為にも最低賃金の引き上げをしていかなければならない。

H28年度の岩手県の年間総労働時間は1885時間で、全国平均より102時間も長い。長時間労働についても是正を行い、心身健康のために安心して働ける時間にしていかなければならない。

有給休暇取得率も岩手県は全国37位であり、体を休める、余暇に使うといった取得率向上にも交渉を行っていただきたい。

前衆議院選挙では岩手2区候補者の畑こうじさんを当選させることが出来なかったが、今後は推薦議員や友好議員の方々と連合岩手フォーラムを行い、その枠組みを作って取り組んでいくところである。来年の統一地方選挙と参議院選挙に対し、必勝を目指し皆様のご協力をお願いしたい。

久慈市長選挙では現職の遠藤譲一候補予定者の推薦決定について、皆様のご協力を得ながら取り組んでいく。



【連合岩手闘争の要求基準】

「底上げ・底支え」「格差是正」(賃上げ)の取り組み

要求目安 10,800円

①平均賃金水準の2% 5,000円(連合岩手賃金実態調査平均より算出)

②賃金カーブ維持分 4,700円(1歳当たりの賃金上昇額の平均)

③格差是正分 1,100円(連合平均と岩手との差額の2%)

雇用形態間格差の是正

①「誰もが時給1,000円」の実現

②時給1,000円超の場合は37円を引き上げ目安

③昇給ルールの導入・明確化の取り組み強化

各構成組織報告

【県職労二戸支部】

退職金減額については今年度は引き下げないということで成果を上げたが、管理職の手当減額は継続されていく状況。いまだに欠員が100名以上あるが当局では効果のある補充策を見いだせてなく、各手当の算定等も含め、働くことが難しいと言われる部分への取り組む必要がある。

【二戸市職労】

長時間労働・人員不足が問題であり、人材確保が出来ていない。早急な人材確保は困難であるため地道ではあるが直実に活動を行って行く。

メンタルヘルスによる求職者が発生しているため、この面に関しての交渉も行っていく。

【岩教組二戸・九戸】

長時間労働では連合総研ではおよそ8割が過労死ぎりぎりの過酷な労働環境下で教育に当たっている。残業手当も長時間働いても本給の4%の手当しか支払われない仕組みであり、教職員1人ひとりの使命感と教育愛により成り立っているの現状の中で過労死の犠牲者がでていく。

高教組とともに県教委・PTA連合会・校長会・中高体育連盟・中高分連の代表者で構成される多忙化解消に関わる協議の場を通じて労働環境の改善に取り組んでいく。学校現場が働く者の命と健康が守られる職場を目指していく。

Q1 学校現場にタイムカードがないと聞いているが、どのように考えていますか？

A1 県教委から時間管理把握への通知もでており、導入している学校も出てきている。パソコンを用いた新しい方法も検討していくと回答を得ている。

Q2 小学校への英語教育開始についての岩教組としての考え方は？

A2 反対の立場ではあるが、いい実践を岩教組としても進めて行くし、教育の低下については岩教組・高教組として対抗していきます。

【高教組二戸・久慈】

タイムカード導入する件は話が進んでいるが、学校現場とタイムカードは現場にそぐわない。部活指導が終わると校舎は閉まっておりタイムカードを打刻出来ないとか土日に部活を行っても校舎が開いていない時もあり、外で部活を行っている時はタイムカードの対象にならない。自己申告では80時間を超えると指導が入るために、控えめに申告してしまうのが実態である。また、経験のない部活を担当される場合もある。部活指導員を導入することになったが、160校に対し100名の配置で開始するが1校に10~20の部活があるので数千の部活に対し100名ということになる。超過勤務対策と言っているが、実態としてはまだまだ及んでいない。春闘に関しては県全体で頑張っていく。

【東京銀座ファッションユニオン】

UAゼンセン方針の9,500円もしくは4%の要求に基づき正社員は9,500円、非正規は時給55円(平均賃金の4%では6,400円になる)非正規については現状はほぼ岩手県最低賃金の状態である。

60歳から65歳まで定年延長についても要求をしていく。現時点で今春の新規卒者の応募は0であり、人材確保の面から見ても労働条件の改善が重要な課題である。

【東北電労二戸支部】

賃金改定については、所得向上、生産性向上や経営諸課題達成への貢献努力、事業運営に必要な人材の維持・確保に向けた取り組みなどを総合的に勘案し、3000円を要求する。非正規労働者の待遇改善については「従業員以外の労働者の働き方に関する労使検討会」で求めていく。

年間賞与に関しては安定した生活を支える生活供給部分である年間4.0ヶ月にそれぞれの事情を踏まえた自主判断部分を加味して4.19ヶ月を要求する。

他には「勤務間インターバル制度の導入」「治療支援勤務時間制の導入」「ジョブ・リターン制度の導入」を労働協約改定として要求する。



【JP労組県北支部】

定期昇給の完全実施。ボーナスも含め非正規社員の時給単価引き上げをメインで行う。同一労働・同一賃金と合わせて、正社員とは異なる有給休暇や各手当も正社員に近づけるように要求する。長時間労働では昼休憩を行わず配達業務を行ったことが、超勤とは気づかず「間に合っているじゃないか」と判断され、このことが郵便物の減少により配達区分が減少し、配達区域が広がった原因の一つであるを考えられ、今後の課題として対応を考えていく。

【PJ二戸フーズ労組】

ここ3年は人材不足・求職者の減少等もあり、要求の「日額200円」の要求に対し満額回答を勝ち取っている。それ以前は日額50円要求に対し10円で妥結していた時期もあった。今後は更に上積みした要求を行う。退職金はリーマンショックにより3分の1まで減額されているので昨年11月に引き上げを要求し、継続課題になっている。人材不足の影響のあり、定年制度を67歳まで要求し、本人希望があれば勤務できるようになった。

【全自交玉川観光支部】

岩手本部の中央委員会を開催し、全自交としては10,000円を要求していく。ドライバーの全国平均年齢は58.3歳という中で、ある意味では60歳を超えてもまだ働ける産業であるが、同一労働・同一賃金、同一地域・同一賃金を押し進めていかなければならないとし、制度改革で国交省に本部から政策要求を出していく。通信関係が発達しているが、地方の60歳を超えた方には浸透していないシステムが進められている。設備導入で会社がパンクしてしまう状況があることを訴えていく。ライドシェアについては反対意見を県や地方議会要請として取り組んでいる。

【東北労働金庫労組二戸分会】

安定雇用の実現に向けて、金庫・関連会社全てで働く嘱託等労働者の雇用年数が3年を超え、本人の希望があれば期間の定めのない無期雇用への転換に取り組む。最低賃金誰もが1,000円と基本賃金の改善に取り組む。雇用に関する環境整備や公正処遇の実現に向けて取り組む。嘱託等職員の諸労働条件や公正処遇の実現計画表を踏まえ、年休や生理休暇、母性保護に関する休暇を正社員と同様にできるよう求めていく。

【連合岩手への質問】

- Q1 安倍首相の賃上げ要請に対し、連合の2%の趣旨は？
A1 ベアは2%だが、定期昇給を含めて全体での4%としています。
Q2 無期転換ルール前に雇止めをされている状況はないのか？
A2 労働局から岩手県では大きく取り上げられる問題は発生していないと報告がありました。



UAゼンセン 東京銀座ファッションユニオン 第21回定期大会

2月11日(日)に二戸ロイヤルパレスにて東京銀座ファッションユニオンの第21回定期大会が開催され、当地協もご招待をいただきました。2月11日は組合結成日であり「満20周年」の記念大会でした。当日はグループ企業の銀座山形屋労働組合から新任の川島啓之委員長がお見えになり、春闘方針説明や製販一体で取り組み、その結果を労働条件の向上につなげていきたいと話されました。UAゼンセン岩手県支部の石川昌平支部長からは最低賃金に関すること、次期参議院選挙の組織内候補予定者への取り組みについて話されました。畑浩治元衆議院議員からは前回の選挙に対する御礼と働き方改革の問題点について具体的に説明をしていただきました。東北労働金庫二戸支店の村上慶喜支店長と全労済盛岡支所の菅原繁支所長もお見えになっていました。当地協からは事務局長が出席し挨拶を兼ねての乾杯をさせていただきました。

執行委員長 角田 直人



UAゼンセン岩手県支部 支部長 石川 昌平



銀座山形屋労働組合 中央執行委員長 川島 啓之



元衆議院議員 畑 浩治

